

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


TBW41L型・TBW41R型・TBF41AL型・TBF41AR型




## 1


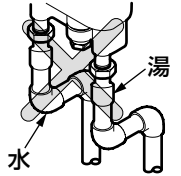

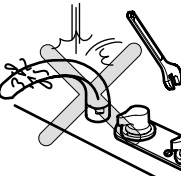
## 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性あることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	<p>湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 

## 注意

	<p><b>禁止</b></p> <p>凍結が予想される場所には設置しないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p><b>分解禁止</b></p> <p>修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
	<p><b>必ず実行</b></p> <p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。</p> 

## 2 仕様

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度		0~40℃
用途		一般住宅浴室用

## 3 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

## 4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	カバー部	
<p>養生カバー 水栓本体 ユニオン ボルト 調整用フランジ</p>	<p>ポイントカバー プレート押え</p>	<p>パッキンB プレート パッキンA</p>
スパウト部	ハンドル部	その他
<p>スパウト シールパッキン</p>	<p>定量ハンドル 温度調節ハンドル</p>	<p>施工説明書 取扱説明書 つかいかたラベル 開閉工具</p>

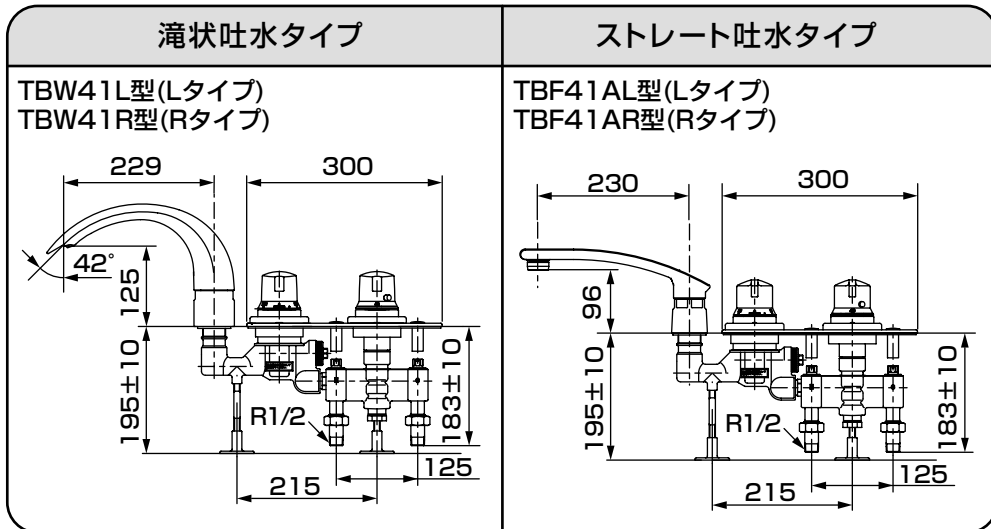
※図はRタイプです。(Lタイプは逆勝手になります。)

※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 5

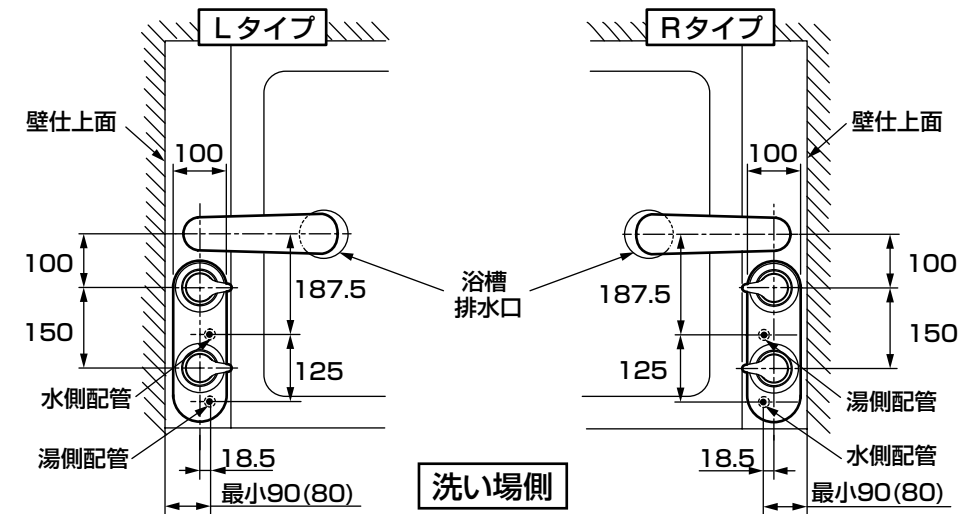
## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



※図はRタイプです。(Lタイプは逆勝手になります。)

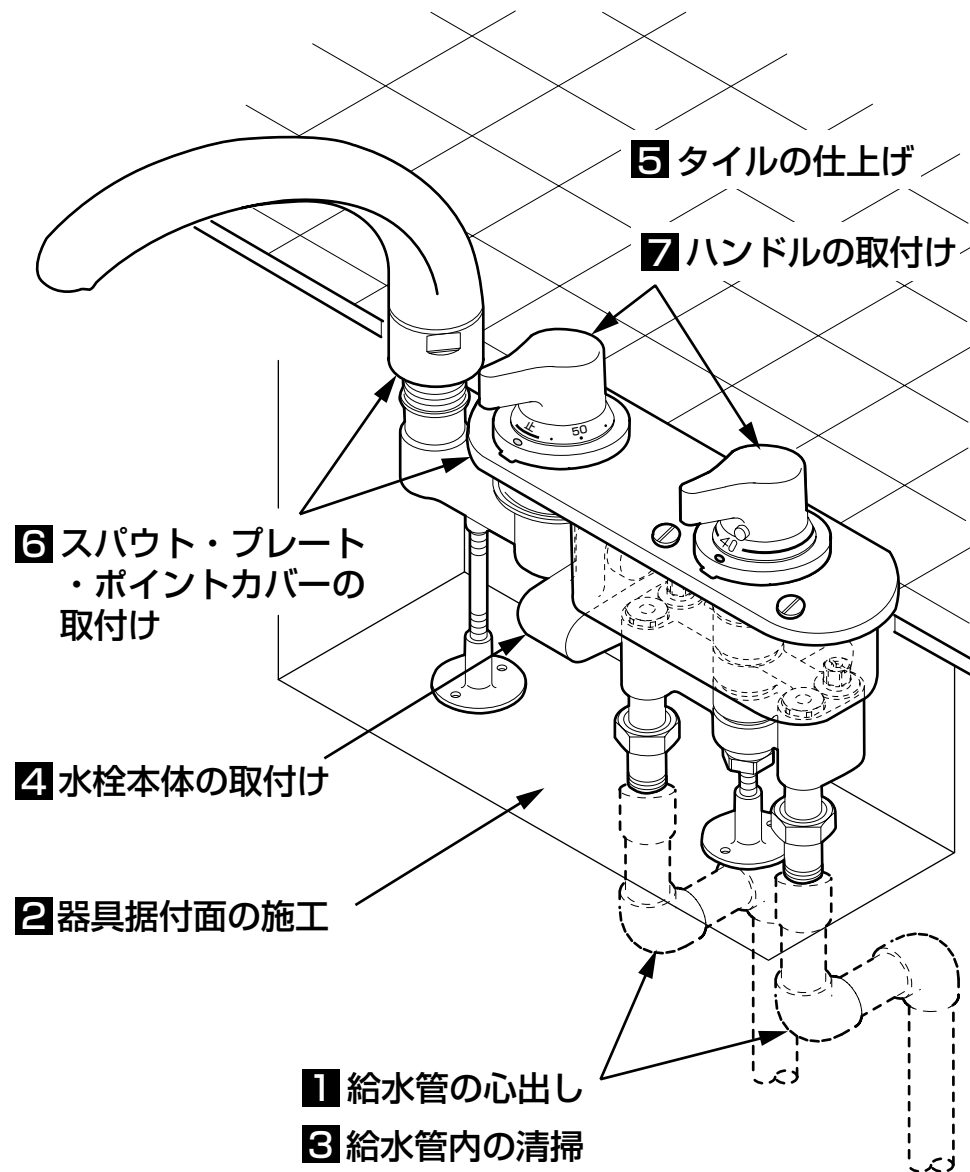
洗い場から見て右側に設置するものをRタイプ、左側に設置するものをLタイプとしています。施工前によく確認してください。



( )はTBF41A型の場合

# 6-1

## 施工手順



※図はRタイプです。(Lタイプは逆勝手になります。)

## 1 給水管の心出し

### 注意

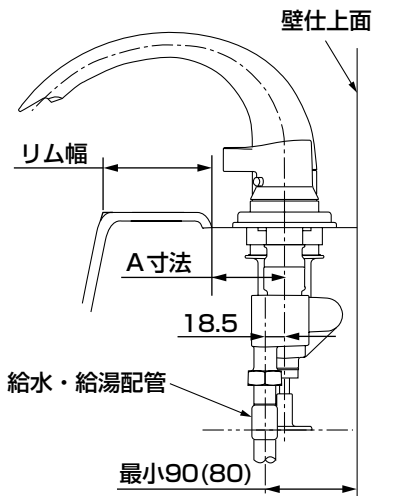
心出しが不十分だと器具の取付けや浴槽内への水出しができなくなりますので、下図の寸法を厳守し、施工してください。

単位：mm

浴槽種類	浴槽リム幅	A寸法
FYS1200他 FYS1300 FYS1420 FYS1500 PNS1100他 PNS1200 PNS1300 PNS1400	70	60~130
PNS1421	100	60~100
PNS1221	55	

※他の浴槽の場合、A寸法は **ハンドルが当たらない** ことを考慮して設定してください。

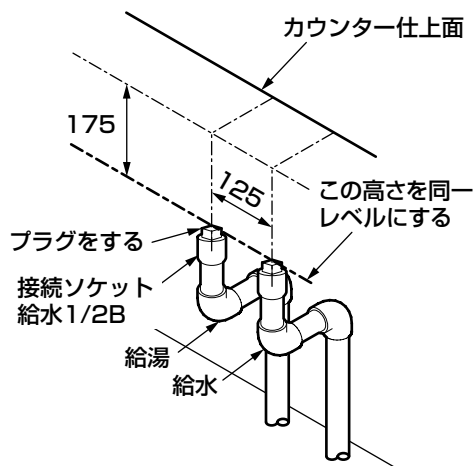
また、**リム幅+A寸法が200mm以下** になるように設定してください。



( )はTBF41A型の場合

### 注意

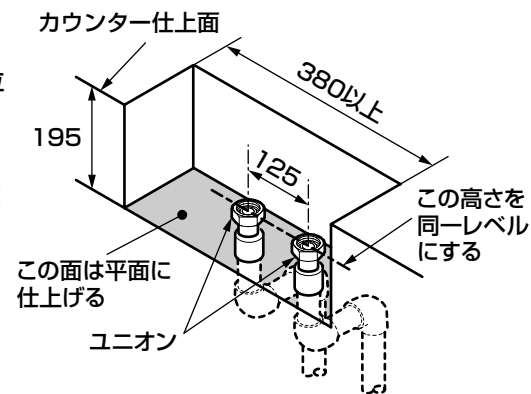
カウンター仕上面までの寸法が175mmになるように施工してください。



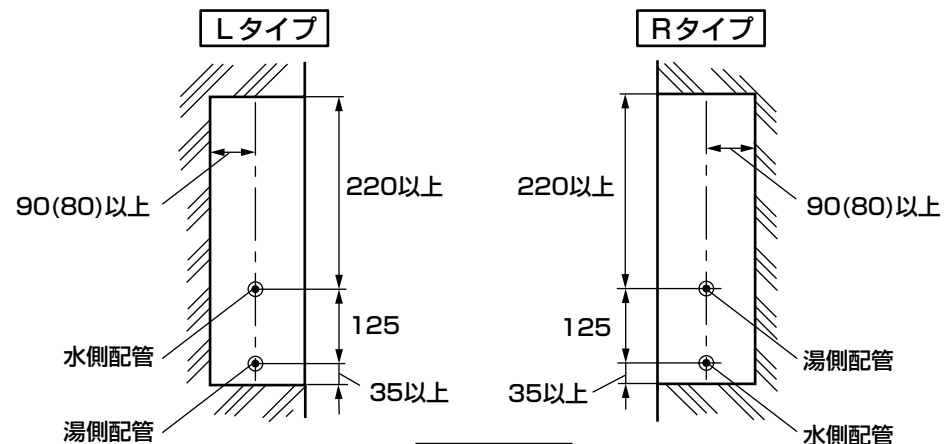
## 2 器具据付面の施工

①カウンター仕上面より195mmの位置に器具据付用の平面部を設ける。

②プラグを取り外し、ユニオンを接続する。



※下図寸法は器具取付けのために必要な最小スペースです。



( )はTBF41A型の場合

## 3 給水管内の清掃

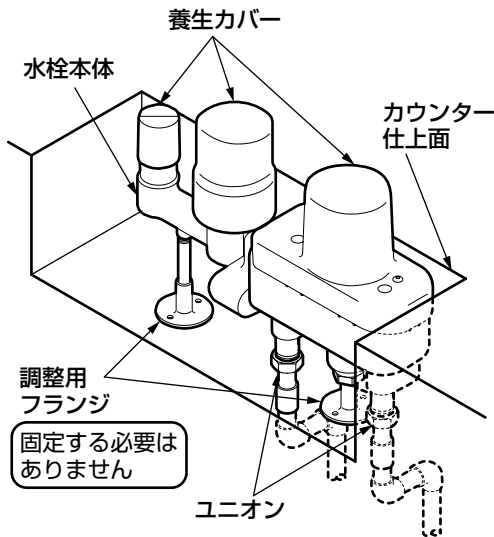
器具を取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**重要**

裏面へつづく

#### 4 水栓本体の取付け

- ①調整用フランジ(2カ所)でカウンター仕上面とのレベルを調整する。
- ②水栓本体をユニオンのナットで締め付ける。
- ③埋込配管部に通水して、器具接続部分の水漏れの有無を確認する。

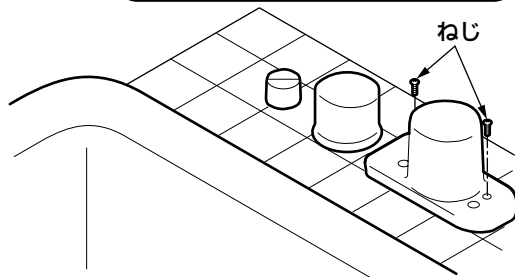
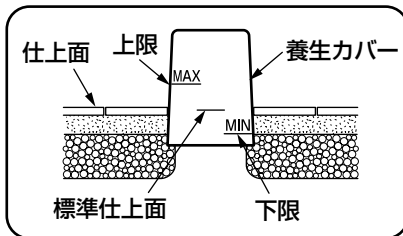


#### 5 タイルの仕上げ

- ①養生カバーに表示してある仕上範囲内に納まるようにタイルの仕上げをする。

**注意**

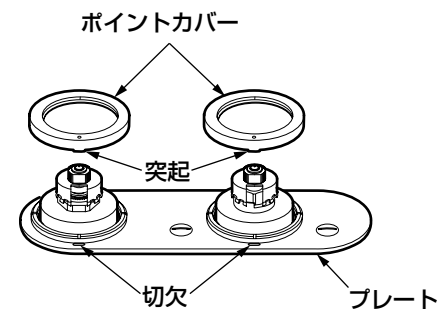
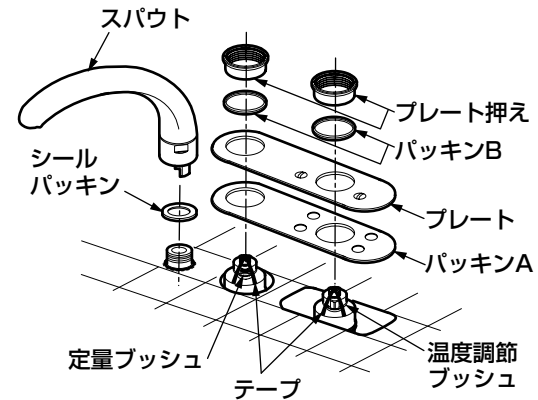
- 養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。
- 養生カバーはタイル仕上げが終わるまでかぶせたままにしておいてください。



- ②タイル仕上げ後、ねじを外し、養生カバーを引き抜く。

#### 6 スパウト・プレート・ポイントカバーの取付け

- ①シールパッキンとスパウトを取り付ける。
- ②定量ブッシュ・温度調節ブッシュに貼り付いているテープをはがす。
- ③パッキンA・プレートをかぶせる。
- ④プレート押えにパッキンBを入れてねじ込む。
- ⑤ポイントカバーの突起をプレートの切欠に合わせてはめ込む。
- ⑥タイル目地のくぼみから水が入り込まないようにプレート周辺部にメジシールを塗布する。はみ出したメジシールはよくふき取る。



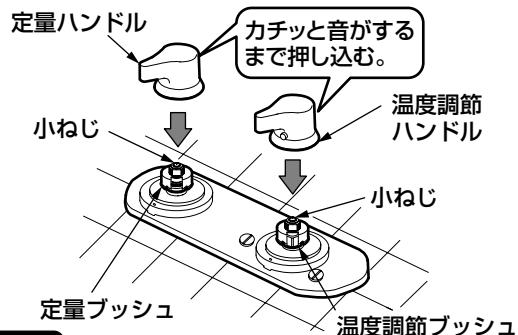
**注意**

定量ブッシュ・温度調節ブッシュはハンドル取付け前に回さないでください。

各ブッシュの位置は、あらかじめ調節されています。

## 7 ハンドルの取付け

- ①ハンドルを“カチッ”と音がするまで押し込む。
- ②ハンドルが容易に抜けないことを確認する。



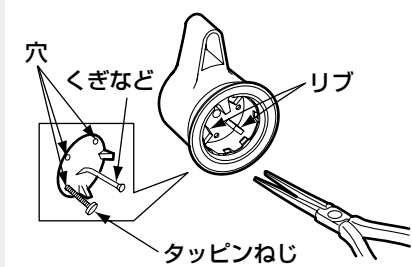
## 注意

- ハンドルを取り付ける前に必ず、定量ブッシュ・温度調節ブッシュが小ねじでスピンドルに固定されていることを確認してください。

小ねじで固定せずにブッシュをハンドルに取り付けると、ハンドルが確実に固定できません。

誤ってブッシュをハンドルに取り付けた場合

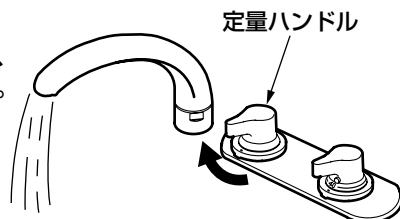
ブッシュ内側のリブ(4カ所)をプライヤーなどで引っ張るか、穴にくぎやタッピンねじなどを通し、引っ張り外してください。



## 施工後の調節

## 1. 水出し確認

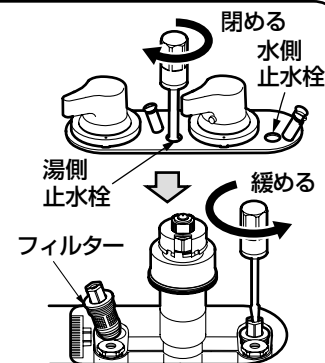
取付けが完了した後、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



## 2. フィルターの掃除

器具取付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターがつまると流量が少なくなったり、水又は、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

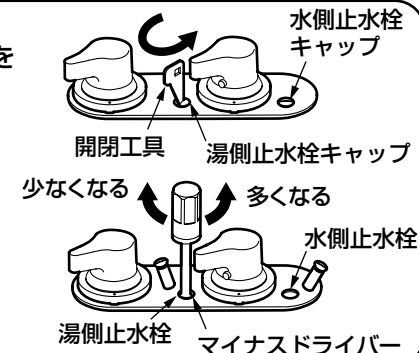
- ※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉めてからフィルターを外してください。(詳しくは、取扱説明書の「日頃のお手入れ」を参照してください。)



## 3. 流量の調節

流量が多すぎる場合などは、**止水栓**で流量を調節してください。

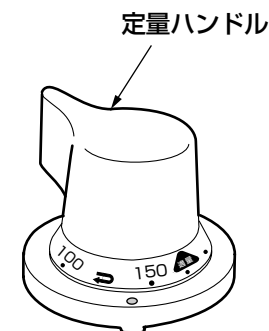
1. 開閉工具又はマイナスドライバーで止水栓キャップを外す。
2. マイナスドライバーを奥まで差し込み、止水栓を回す。  
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



## 4. 最大設定量の調節

定量ハンドルの最大設定量を目盛り250(約250L)に設定していますが、最大目盛り300(約300L)まで設定できます。また、浴槽の適量以上定量ハンドルが回らないように、最大設定量を調節しておく大変便利です。

- 設定量を調節する前に、実際に浴槽へ湯又は水をためて適量を確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「つかいかた」を参照してください。)

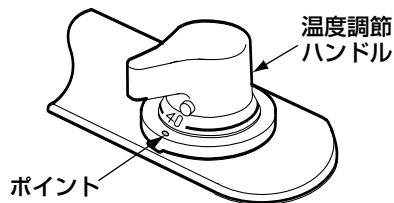


### 5.吐水温度の確認

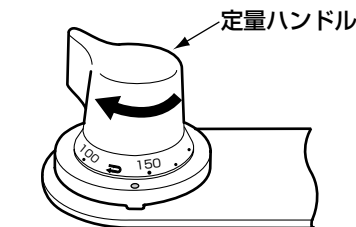
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。



2. 温度調節ハンドルの目盛り“40”をポイントに合わせる。

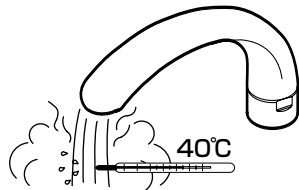


3. 定量ハンドルを時計回りに回す。

スパウトから水が出ます。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（およそ40℃）であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、次項を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。



### 6.温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示通りになっていないときに行ってください。

1. 定量ハンドルを時計回りに回す。

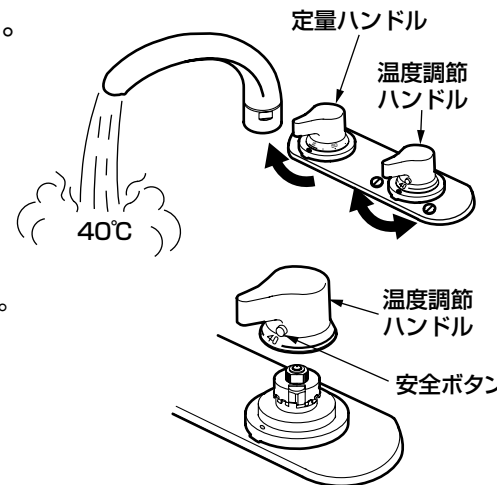
スパウトから水が出ます。

2. 温度調節ハンドルを目盛り“40”付近でロックされる位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り“40”付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。



豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を下から軽くたたいてください。

4. 温度調節ブッシュを外す。

小ねじ、温度調節ブッシュをスピンドルが回らないように注意して外してください。

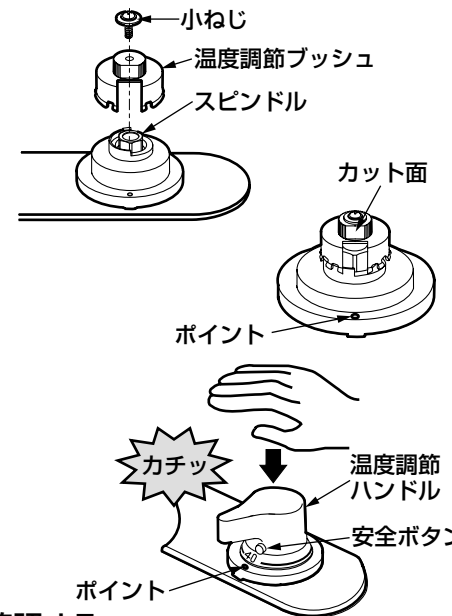
5. 温度調節ブッシュを取り付ける。

温度調節ブッシュのカット面を、ポイントに合わせてはめ込み、小ねじで固定してください。

6. 温度調節ハンドルを取り付ける。

温度調節ハンドルの安全ボタンと本体のポイントに合わせて、温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

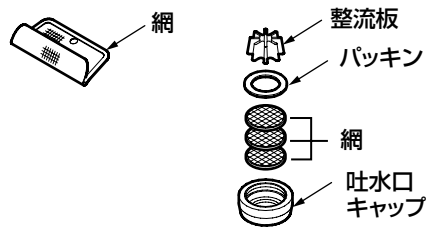
7. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

吐水口

〈滝状吐水タイプ〉 〈ストレート吐水タイプ〉



### 流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

フィルターのごみづまりはないですか？

➡ **7-2** **2. フィルターの掃除** 参照

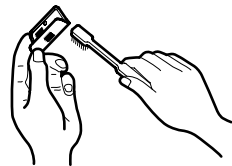
止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。

**7-2** **3. 流量の調節** 参照

吐水口のごみづまりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。  
(詳しくは、取扱説明書の「日頃のお手入れ」を参照してください。)



### ガタツキの確認

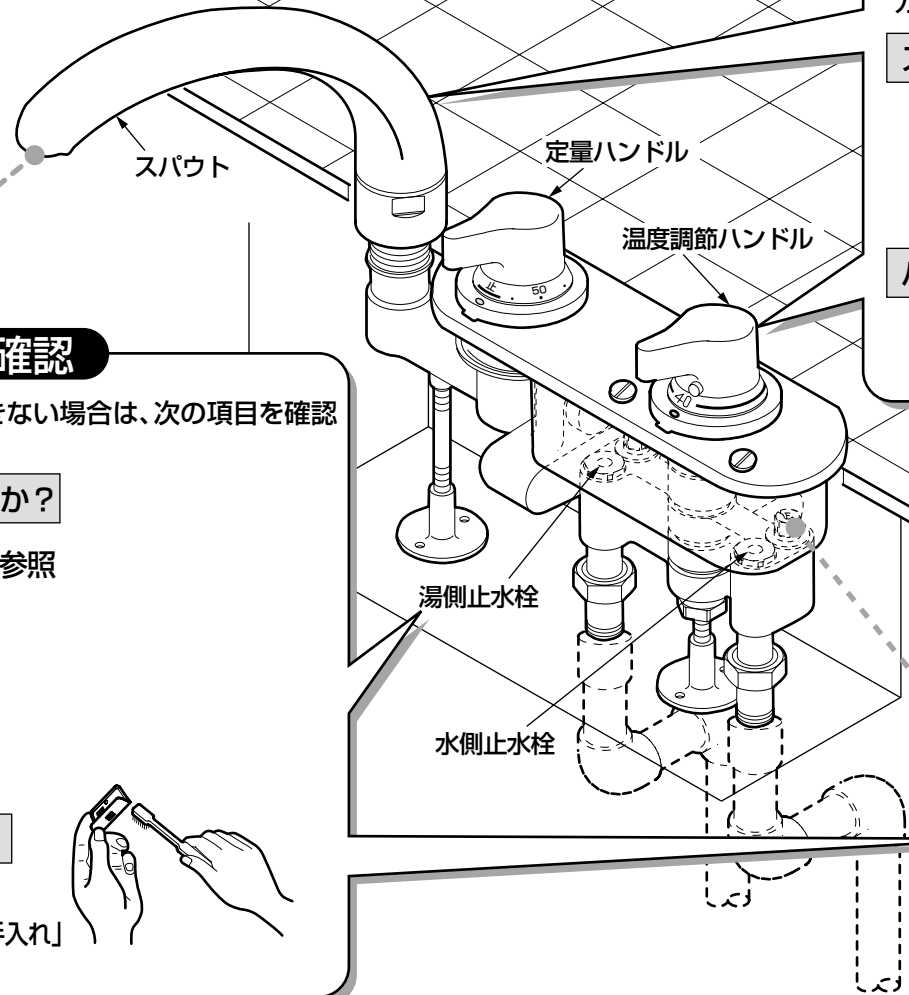
ガタツキがないか確認してください。

スパウトの緩みはないですか？

➡ **6-3** - **6** 「スパウト・プレート・ポイントカバーの取付け」参照

ハンドルはしっかり差し込まれていますか？

➡ **6-4** - **7** 「ハンドルの取付け」参照



フィルター



※図はRタイプです。(Lタイプは逆勝手になります。)

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。